



健康だからこそ喜び

崔 小 灵
CUI XIAOLING

私は入国してすぐに組合で1ヶ月間講習を受けました。そして、最終日には卒業式があり、記念品をもらいました。箱を開けてみるとその品物と一緒に3つのメッセージが添えてありました。そこには1. 健康に気を付ける 2. 日本語を勉強する 3. 仕事を頑張ると書いてありました。しかし、その時の私は一番目のメッセージが健康であることを全然気にも留めませんでした。しばらくして私はその言葉を実感することになったのです。

私は会社に行った後、仕事も生活も順調でした。社長さんや実習生の先輩はとても親切で、私は何の不自由もなく過ごしていました。しかし、1年後に私の体調が悪くなりました。お腹に違和感があり時々痛くなることもありました。そんな私を社長さんや仲間は心配して「崔さん、大丈夫？ 病院へ行く？」と何度も声を掛けてくれました。私は我慢ができる痛みだったので「大丈夫です」とそのまま仕事をしていました。でも、次第にその痛みが強くなったきたので、私は社長さんに病院へ行きたいと話しました。病院で検査をした結果、私の病気はある婦人病でした。そして、病院の先生から手術が必要だと言われたのです。私はショックを受け「何でこんなことになったのだろう」と思いました。その時の私は、病気への不安よりも、この先の実習がどうになってしまうのかということ

で頭がいっぱいでした。病気は手術をすれば治りますが、それには今の実習を中止しなければなりません。私は治療の方法を家族や社長さんや組合の人と相談をしました。そして、安心して治療ができるのはやはり母国に帰ることだと思いました。でも、たった1年で実習を諦めることなど、私にはどうしてもできませんでした。ですから私は病気が治ったら、また会社へ戻ることを社長さんに訴えました。社長さんは私の体を心配してくれましたが、私の決意は揺らぎませんでした。そして、私は中国へ一時帰国して治療を受けました。実はその時、私は本当にもう一度戻れるのかどうか、自分でも自信がありませんでした。なぜなら私はこれまで大きな病気をしたことがなかったからです。私は手術後のベッドの上で「早く仕事がしたい」と何度も思いました。そして、病気になって初めて仕事ができるうれしさを知りました。幸いにも術後の経過が良好だったので、私は1ヶ月ちょっとで実習を再開することができました。社長さんを始め会社の仲間が「おかえり」と歓迎してくれました。やっぱり気の合う仲間と一緒に仕事をするのは幸せだと思った瞬間でした。

私はある時、すっかり忘れていた組合の卒業式でいただいたメッセージのことを思い出しました。カバンを奥に仕舞っていたところから取り出し、私はそのメッセージを見て健康の重要性を改めて感じました。健康であれば仕事や人生を楽しめる。メッセージの1番目に書かれている意味が良く分かりました。健康は人生における一番の礎だと思います。

国	籍	中国
職	種	婦人子供服製造
実習実施機関		有限会社光ソーイング
監理団体		PNJ 事業協同組合